らいてうの家

通信　７１号

2024.７.1

・・・平和・協同・自然のひろば・・・

らいてうの家　〒386-2201　長野県上田市真田町長 1278-720　℡fax：0268-74-1385
NPO 平塚らいてうの会　〒112-0002 東京都文京区小石川 5-10-20　5F　℡fax：03-3818-8626

らいてうの家オープン

4 月 27 日（土）のオープンに先立ち、家の再開準備を行いました。家の周囲の点検、水道開栓、室内の清掃、今年の展示準備等 3 日間に渡り会員力を合わせ、訪れるみなさんへの気持ち良い空間作りができました。

オープンでは代表理事の三留弥生さんかららいてうの平和運動について中心にお話を聞きました。以下お話の要旨です。

らいてうは「ただ戦争だけが敵」といい、晩年ベトナム戦争募金、日米安全保障条約反対、基地反対を訴え、自宅前でデモ行進もした。多くの人々と一致点で共同を組み、なかでもビキニ水爆実験を機に原水爆禁止の訴えを世界に発信。被爆者 6 名をヨーロッパに派遣、らいてう自身が送り出すことに尽力した。日本母親大会開催の原動力となる。

それには、らいてうの戦争体験が深く影響している。家制度を否定し、結婚ではなく博史との共同生活を選択したが、徴兵通知のきた敦史の「命を守る」ために入籍した。らいてう自身が個を尊重しあう家庭の雰囲気の中で育っている。基礎的経済生活は執筆活動。博史の指輪を売ったりしたが、博史は経済力が無いだけの人でない。「らいてうの日記」にも博史を尊重する記述がみえる。平和のためにはジェンダーの視点が必要とする姿勢を貫いた。

この日来館された弁護士の杉井静子さんは「朝ドラのモデルの三淵嘉子さんが戦前弁護士になれたのは、らいてうさん等の婦人参政権運動が大きい。弁護士法改正（普選運動）により政治集会への参加が可能となり、先人の努力があった。家制度の名残はまだまだ大きく、未だに同姓の強制が遺された。私の場合弁護士 500 人のうち女性は 18 人、弁護士の名刺をだしても疑われる時代だった。現在の状況はらいてうさんの運動の成果の上に立っている。そのうえにこの場所に若い人にも参加を呼びかけたい。」と話されました。

森のめぐみ講座２日目研修

始めに青年講習所の石碑を見学。この石碑は 40 年前卒業生によって建立された黒御影石の立派な石碑です。1929 年軍部による「中堅人物並海外発展に志す青年の養成」「労働体験に基づく思想信念の確立」のため各県に配置され（1925 年)菅平は 4 年後です。日課は起床後の禊、豊国運動、礼拝。食事は麦飯と一汁一菜の質素なもの。禊は呼吸が止まるほどの冷たさの中での大明神沢での滝行。1929 年から 10 年間行われ、207 名が卒業した。海外発展という目的から見て満州移民のリーダーとして対ソ防衛の兵站地での養成等、軍部の思惑があったと私は推測します。

その後、周囲の自然観察会に切り替え、ベニバナイチヤクソウの群生地、ジンヨウイチヤクソウやかんざしのように吊り下がっているツリバナの花を見ました。

（倉橋純子）

イチヤクソウおちこち小さき紅灯し　（純子）

〇森のめぐみ講座１日目牧幸男さんのお話は平塚らいてうの会ニュース第 127 号（10 月 1 日付）に掲載します。

コカリナ演奏＆星空観察会

8 月４日（日）　13 時 30 分～21 時

上田市真田町長：らいてうの家にて（0268-74-1385）

- 13 時 30 分“コカリナれんげ畑”演奏開始
- 15 時 30 分 ～ 休憩・夕食
- 19 時 ～　星空観察会（**雨天中止**）

コカリナ演奏　**代表：岩田悦子さん　他　7 名**

NPO 日本コカリナ協会　公認講師

ウクライナの子どもたちを支援しています

世界中を演奏して、活躍しています

夏の星空観察会　講師：安達永眞さん

星巡りの一夜です。 でも とっても寒いので ❢❢❢❢❢

冬支度でお出掛け下さい ❢❢❢

双眼鏡ある方は持参、寝袋 10 人分あり

◎参加費　５００円

・夕食はこちらで用意できます

申し込みを（有料）　各自持参もありです

◎申し込み、連絡先

Tel ： 0268-24-4724（沓掛美知子）　携帯：090-1691-6437